

# 『願い』一歩前へ

長浜市立西中学校 学校だより 第13号  
令和6年1月31日 発行文責；小川淳三  
生活スローガン「あすこそは」  
あいさつ・スマイル・こしほね・そうじ・はきもの

## 力戦fun闘



## ～ we start having fun ～

1月20日から2月3日までの期間は、二十四節気にじゅうしせつきの「大寒だいかん」です。文字通り、大寒波だいかんばが日本上空に押し寄せ、長浜にも大雪をもたらし、25日（木）は臨時休校としました。自然災害に臨機応変に対応できたでしょうか。保護者の皆さまも、ご協力ありがとうございました。

2月4日に「立春りっしゅん」を迎えます。立春とは、二十四節気において1年の始まりとされる日でもあります。それで、今号では生徒会の新たなスタートとして、3学期の始業式で坂生徒会長が所信表明で発表した生徒会活動スローガンを見出しで取り上げました。

今年の生徒会スローガンは、「力戦fun闘 ～we start having fun～」です。「力戦奮闘りきせんふんとつ」という四字熟語の意味は、「全力で困難に対して向かっていく」という意味です。さらに、「楽しみたい」という気持ちを込めて「奮」の一文字を英語の楽しいという意味の「fun」にしました。

サブタイトルは「～ we start having fun～」です。これを日本語に訳すと「私たちは楽しいことを始める」という文になります。これから新しく行う活動を楽しんでほしいという気持ちがこもっています。さらに西中の「西 west」が入ることで西中にしかないスローガンにしました。

みんなが全力で楽しめるように、新しく活動を行ったり、既存の活動をグレードアップしたりして、この一年間どんどん楽しませられるようにがんばっていきます。

新執行部メンバー一同、力を合わせて頑張っていきます。生徒会活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。  
生徒会長 坂 仁一朗

スローガンを考える子どもたちの発想には毎年感心させられます。奮闘の「奮」をローマ字読みで「funファン」、それを英語の「funファン 楽しい、楽しさ」につなげているところです。そして、we startの初めの4字で「west」。このように文字にしたものを読むと、その意図（い）が伝わってきます。スローガンに込められた「願い」を共有し、学校生活を楽しむことができる「西中」を皆さんの力で創り上げてほしいと思います。一歩ずつ前へ進んでいきましょう。

新生徒会執行部

【敬称略】

本部役員		専門委員長		副委員長	
生徒会長	坂 仁一朗	生活委員長	大橋 夢子	生活副委員長	辻 治真
副生徒会長	久西 奏和	図書委員長	西尾美優羽	図書副委員長	青木 悠純
総務長	杉山 琴音	環境委員長	川村仁一朗	環境副委員長	藤田 蒼介
書記長	井上 光	保健体育委員長	吉田 悠真	保健体育副委員長	橋本 ももこ
書記	北村 暁人	広報委員長	大橋 飛太	広報副委員長	岩瀬 琉奈
書記	高宮 奈桜	福祉文化委員長	辻 湊太	福祉文化副委員長	中川 寧彩
会計	西野 全	給食委員長	清水 柚希	給食副委員長	黒川 凜風
会計	坂口 太一	新生徒会のリーダーです。よろしくお願いします。			

先輩方が築いてこられた素晴らしい伝統・バトンを受けついで、みんなが全力で楽しめる生徒会を、全校生徒で力を合わせて創ってください。期待しています。

# 友だちのいのち

1995年1月17日の神戸を中心とした阪神・淡路方面の大震災の後、一人の小さい人のことは聞いて、“いのち”ということ深く考えさせられました。

テレビのニュースキャスターが避難している人たちに、「今、一番ほしいものはなにか」をたずねた時のことでした。

水がほしい、食べ物がほしい、家がほしい、と大人はみんなこう答えました。

小学生が一人いました。「あなたが今、一番ほしいものはなに？」キャスターがたずねました。小学生は、大人では考えられないことを答えました。

## 「友だちのいのち」

なんてすごいことを、この小さな人はいえたのでしょうか。

大人はみんな物をいったのです。待っていれば、必ず戻ってくる物をです。もちろん、そういう大人の人たちの気持ちは、私も大人ですから、よくわかります。その場では、きっと私もそういったでしょう。

しかし、この小さい人は、二度と戻ってこない「友だちのいのち」が、一番ほしいといったのです。

理不尽にも、一瞬のうちにいのちを奪いとられたくやしさと、怒り。小さい人のひとことの中に、いのちの悲しみの本質を知らされました。

いったい“いのちは、どこからきて、なにをしに、どこへいく”のでしょうか。

百五十億年という時間の中では、宇宙からきて、宇宙に帰っていくのでしょうか。個人としては、母から生まれ、大地に帰っていくのでしょうか。

いのちの悲しみの本質は、いつか終わりがあるということです。（以下省略）

1月1日に感じた大きな揺れを忘れないうちに、この文章（『みすゞコスモス』<sup>やさせつお</sup>矢崎節夫著より）を読んでもらいたいと転載しました。「いのち」について、今一度しっかり考えたいと思います。

## 五里霧中悪戦苦闘支離滅裂七転八倒大器晩成

ごりむちゆう      あくせんくとう      しりめつれつ      しちてんぱつとう      たいきばんせい

四字熟語が五つ並んでいますが、これは「現代学生百人一首」の入賞作品、つまり短歌です。

2004年度の入選作で作者は高校3年生。声に出して読んでみると、受験生の心境が伝わってきます。ちなみに、2004年10月には震度7を記録した新潟県中越地震が発生しました。

「先が見えない不安のなか、苦しみながら闘って（努力して）、自分が分からなくなり、  
転(ころ)げ回っている。でも、いつか大きく成長して夢をつかむぞ。」

そんな思いでしょうか。一番最後の「大器晩成」に、**未来への希望**がうかがえます。

**靴紐を結ぶべく身を屈めれば全ての場所がスタートライン** <sup>わたる</sup>山田航

新しい場所へ行くとき、その場所に真っ先に触れるのは靴です。言わば、靴は自分の最初です。たとえスタートラインを見失ったとしても、靴紐をゆっくり結び直してみましよう。屈んでみたらスタートの姿勢です。いつでもどこでも、そこがスタートラインです。立春を迎える2月に**新たな気持ちでスタートを切りたい**と思います。3年生は受験が本格的にスタートします。**ファイト!**

### 2月の主な学校行事予定

- |                                    |                                   |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 (木) 2 (金) 県内私立高校入試               | 13 (火) 避難訓練⑥                      |
| 6 (火) 県内私立高校合格発表                   | 14 (水) 駒籠・特・スホ文選入試入学許可予定者通知       |
| 7 (水) 県立推薦・特色・スポ文選抜入試<br>市教育研究発表大会 | 19 (月) 20 (火) 3年学年末テスト            |
| 11 (日) 【建国記念の日】                    | 23 (金) 【天皇誕生日】※卒業制作展(～3/6 さざなみ祭り) |
| 12 (月) 振替休日                        | 26 (月) 27 (火) 1・2年学年末テスト          |



☆学年行事の詳細は、各学年より連絡いたします。